

令和5年度 第1回日立市行財政改革推進会議について

1 日 時 令和5年7月5日(水) 午前10時から午前11時まで

2 場 所 日立市役所 研修室

3 出席者

(1) 委員

鈴木副委員長、櫛田委員、高倉委員、皆川(摩)委員、福森委員、弓野委員、
皆川(泰)委員

(2) 事務局

(総務部) 大窪部長、佐藤次長、下村政策監

(行政マネジメント課) 片岡課長、野口課長補佐、吉野主幹

4 副委員長選出

【事務局】 委員の互選により、副委員長に鈴木委員を選出した。

5 会議内容

議題 行財政改革大綱(第8次計画)の成果報告について

【事務局】 — 資料の総括部分(P1～P15)に基づき説明 —

発言者	発言内容等
No. 4 労務管理の適正化	
委員	時間外勤務については、長時間勤務者をターゲットとして指標を出しているが、民間企業では、長時間勤務者を減少させながら、それと併せて時間外勤務の全体の平均時間を捉え、縮減していこうという考え方がある。みんなで時間外勤務の平均を20時間/月にしようというような目標をもって取り組むということをしているので、市役所でもそのような考え方を取り入れてみてはどうか。
事務局	市役所は職場によってかなり時間外勤務の差が大きく、全体の平均では、正確な長時間勤務の実態が押さえられないというところがある。そのため、今回の行財政改革では長時間勤務者の割合を指標としているが、働き方改革としては、休暇取得日数など、様々な指標をもって取り組んでいるところである。

発言者	発言内容等
No.13 地場産品等の活用によるふるさと寄附の確保（継続）	
委員	令和4年度の申込金額が減少した理由について、分析などはしているのか。
事務局	<p>日立市では、日立製作所の家電品を返礼品としたことで、多くの寄附をしてもらえるようになった。しかし、家電品は、食料品などと違い毎年同じものを申し込むというものではないことや、家電品を返礼品とするためにはかなりの額の寄附が必要というところで、家電品を返礼品とする申込が一巡し、頭打ちになっているということが一つの理由かと考えられる。</p> <p>また、他市町村でも様々な返礼品が出ており、競争が激しくなっていることから、更なる魅力づくりとして体験型の返礼品などを検討しているところであり、寄附額を引き続き維持していけるよう努めていきたいと考えている。</p>
No.24 観光施設等の魅力向上	
委員	かみね動物園は日立市の観光の目玉の一つであり、現在、獣舎の整備などを行って施設が充実してきているところであるが、かみね動物園に来た人が利用できる飲食店は周辺にあるのか。動物園や遊園地で遊んで、そのまま近くで食事をするというような、日立市でお金を使ってもらうための仕組みとしてはどのようなことを行っているのか。
事務局	食事ができる場所としては、動物園内には「カバさんハウス」などがあり、近隣ではレジャーランド、ホリゾンかみね、吉田正音楽記念館にも簡単な食事ができる場所がある。
委員	5月の連休などは、本当に多くの方が市外、県外から来ているので、動物園や遊園地だけではなく、日立市でお金を使ってもらえるような仕組みを一緒に考えていく必要があるのではないかと思う。
事務局	現在、動物園内の整備を先行して行っているが、かみね公園全体の活性化ということで、再整備計画をたてている。飲食の面も課題として認識しており、駐車場の確保なども含めて、産業経済部で取り組んでいるところである。
委員	かみね動物園の駐車場の確保について、今年のゴールデンウィークは、近隣の小学校の校庭を臨時駐車場として利用し、シャトルバスを運行するということをしていたが、それによって少年団の練習ができなくなるなどの影響もあった。臨時駐車場は混んでいるときもあれば、そうでないときもあり、利用状況を把握するのは難しいと思うが、駐車場としての利用とその他の活動での利用とのバランスがうまく取れるとありがたい。
事務局	繁忙期の駐車場の受け皿として、小学校の校庭を利用するという取組をしたところであるが、それに伴う少年団や地域の方への影響という点については、担当課に伝え、課題を整理してより良い形を探っていきたい。

発 言 者	発言内容等
No. 45 放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携促進	
委 員	<p>自分の子どもの学校でも放課後子ども教室が始まり、親が働いていなくても、希望をすれば週に1回程度、放課後に学校で遊べるということになった。また、放課後子ども教室を利用すると、放課後児童クラブの子とも一緒に遊べたりするが、放課後子ども教室に登録していない子については、けがをした場合に保険の問題があるため、一緒に遊ばせられないと言われてしまったことがある。</p> <p>放課後の学校でみんなが一緒に遊べるよう、柔軟に対応していただいて、子どもが安全に遊べる場所の確保をしていただけたらと思う。</p>
事 務 局	<p>放課後子ども教室については、家庭環境に関わらず、放課後児童クラブを利用している子もそうでない子も、一緒に様々な活動ができるということを目指している。</p> <p>現状、保険の問題などで一緒に遊べないというようなことについては、教育委員会と調整し、検討していくこととしたい。</p>
No. 59 新学習指導要領への円滑な対応に向けた取組	
委 員	<p>文部科学省の発表では小中学生の20人に1人が不登校というデータもあり、学校でのタブレットの活用方法として、子どものメンタルヘルスの面での活用がもっとできると良いと思う。半年や1年に1回程度、タブレットを使ってメンタルヘルスチェックを行い、それを学校側が確認して、問題がありそうなときに話を聞くというような使い方ができると、子どもの変化に早期に気づいてあげられるのではないかと思う。</p>
事 務 局	<p>コロナで学校が一斉休校になった時期に、リモートで家庭と学校をつなぎ、最初に先生がクラスの子どもたちの顔を見て、様子を確認するというところを行った。その結果、各学校からリモートのメリットとして、不登校の子とリモートを利用して個別に話をしたりすることができるということが挙げられた。</p> <p>これを受けて、教育委員会では、不登校児童生徒の対応にタブレットを活用するという点について、検討を進めていると聞いている。</p>
副 委 員 長	<p>タブレット利用のルールの徹底など、家庭によって環境が違うところもあり難しいこともあると思うが、工夫をして、良い方向に進めていってほしい。</p>

発 言 者	発言内容等
【達成状況の評価・推進事項について】	
委 員	<p>時差出勤やテレワーク、タブレットの有効活用といった項目は、コロナの影響により、当初計画した以上に取組が進んだのだと思うので、評価を「S」にしても良いものがあるのではないか。コロナによって進捗が遅れたものがある一方、コロナを契機として取組が計画よりも進んだものについては、評価をして、もっとアピールしても良いのではないかと思う。</p>
事 務 局	<p>時差出勤やテレワークなどについては、コロナの感染が拡大していた時期は非常に実施数が伸びたが、令和4年度になってコロナが落ち着いてくると、実施数が少なくなってしまう。今後、コロナ対応以外の通常時の柔軟な働き方として、時差出勤やテレワークを定着させていくためには、更なる検討が必要と考えているところである。</p>
委 員	<p>コロナは5類感染症となったが、テレワークなどを継続して実施していくことが柔軟な働き方ということだと思うので、引き続き実施して行ってほしい。</p> <p>また、コロナに対応した取組というところは、今後、少なからず縮小していくのかと思うが、今回の成果報告を見て、率直に推進事項の数が多いと感じた。評価が良いもので、推進事項を達成したというものがあつた場合は、リストから外し、シンプルにできるものはしていくということも必要かと思う。</p>
事 務 局	<p>これまで行財政改革を続けてきた中で、ある程度成果が出たものについては、通常の業務として取り組むということで進めてきたところである。コロナに対応した取組についても、状況に応じて縮小できるところは縮小し、業務効率化に資するものは活用していく。</p>
委 員	<p>行財政改革の進め方として、指標の何パーセント以上になったら、こういう評価をするなどの基準を示してあげてはどうか。</p> <p>推進期間の途中でも、推進事項の中で基準をクリアしたものや取組が定着したものなどがあれば、どんどん項目を減らしていくという形でモチベーションを上げていくようなことをしても良いのではないか。</p> <p>また、月単位の指標などがあると、月ごとに達成状況を確認でき、取り組み方がもっと活発に変わっていくのではないかと思います。</p>
事 務 局	<p>現在の行財政改革は3年を推進期間とし、3年間で到達する目標を定めて、半年ごとに進捗管理と評価を行っている。これまでは、最初に設定した項目を3年間継続するというので実施しており、途中で達成したものは除くというような視点はなかったため、今後の検討課題としたい。</p>

発 言 者	発言内容等
【財源確保について】	
委 員	今回の財源確保額である 7,511,614,000 円というのは、成果としてはどの程度のものなのか。
事 務 局	確保額はふるさと寄附によるものであるが、ふるさと寄附の金額としては、令和3年度の実績で県内3位であり、日立市は上位に位置している。ただし、最近、若干金額が落ち込んできているということで、令和5年7月1日付けで「ふるさと寄附推進室」という組織を作ったところであり、今後、寄附額の確保に力を入れていきたいと考えている。

今後のスケジュール

【事務局】

本日いただいた意見を踏まえて、市長以下各部長で構成する行財政改革推進本部会議で協議した後、市議会へも報告して意見をいただく。

また、今回の会議の議事録については、ホームページで公表予定のため、事前に公表内容を各委員に確認していただく。

以 上